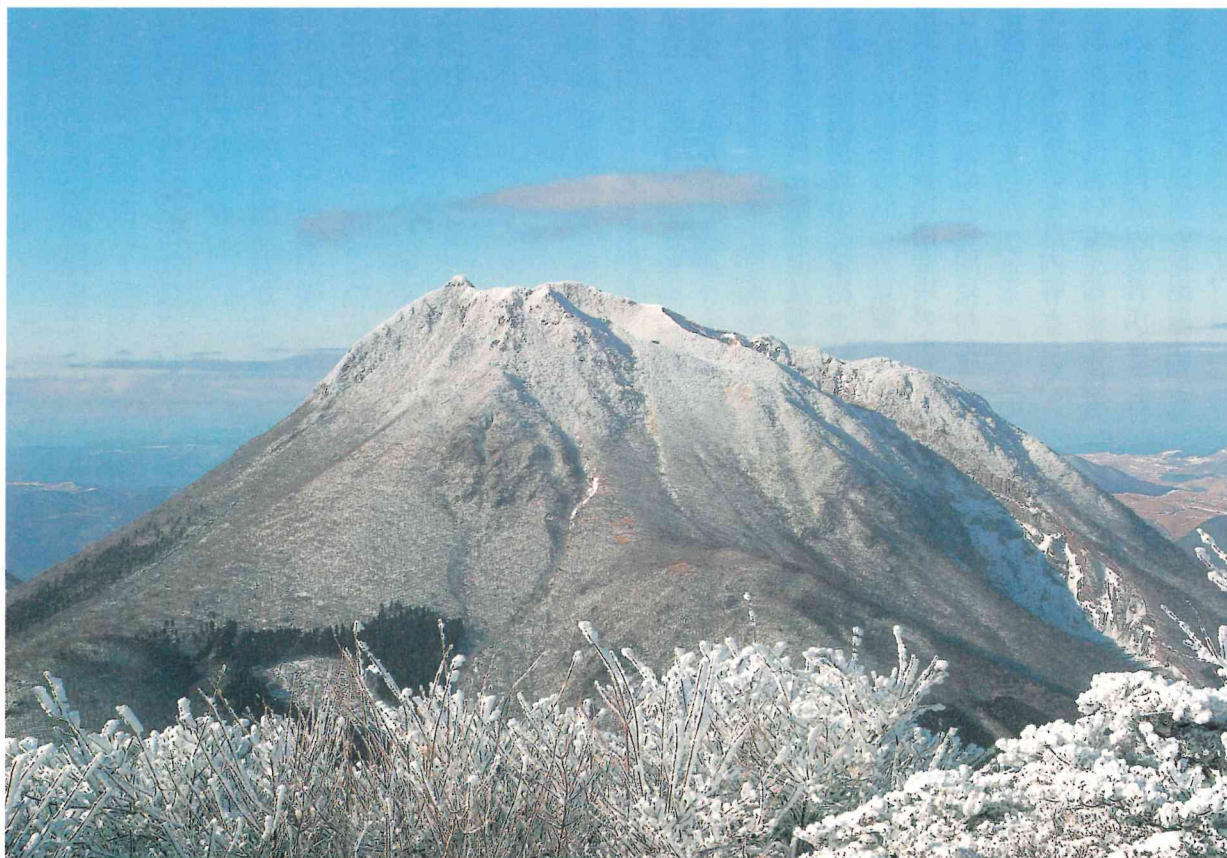


べっぴ 市議会だより

No.59 平成15年2月1日

編集 市議会だより編集委員会
発行 別府市議会
住所 ☎874-8511
別府市上野口町1-15
☎0977-21-1111
メール sec-cc@city.beppu.oita.jp



鶴見岳より見た由布岳の冬景色

「職員給与改定関連議案」など原案のとおり可決

12月定例会は、12月4日から12月17日までの14日間の日程で開かれました。別府市職員の給与に関する条例等の一部改正についてや、別府市税条例及び別府市都市計画税条例の一部改正について、さらに平成14年度別府市一般会計補正予算及び各特別会計補正予算などの条例及び予算議案の審議が行われ、採決の結果、すべて原案のとおり可決されました。

なお、「北朝鮮による拉致問題の徹底解明を求める意見書」など議員提出議案7件のうち6件について原案のとおり可決されました。

主な内容

主な議決……P2～3

議案質疑……P4

一般質問……P5～7

その他……P8



風景 議会 例定 12 月

主な議決

十二月定例会は初日に決算特別委員長より継続審査中の平成十三年度一般会計・各特別会計の決算の認定について審査報告がなされ討論、採決の結果認定されました。

この後、予算や条例案件などの議案が上程され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任委員会へ付託されました。これらの議案は、最終日に所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、すべて原案のとおり可決されました。

継続審査

◎平成十三年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について

(認定)

決算特別委員会は閉会中の十月三十日、三十一日の二日間にわたり決算審査を行いました。

まず、本決算の主な内容として、経常収支比率において、前年対比で〇・四ポイント程度の改善がなされた要因と、この比率の算出方法が変更になった内容について、経常一般財源等の歳出において介護保険の給

付費による繰出金が増加したものの、退職者の減少に伴う人件費が大幅に減っており、歳出総額で約二億二千九百万円の縮減が図られた。歳入では、地方税、地方消費税交付金、地方交付税等合わせて約八億五千万円の減収となったが、今回より交付税の代替分である臨時財政対策債の約五億二千万円を分母に加えることとなったため、経常収支比率が低下した。

次に、経常収支比率に占める割合が大きく、財政運営を左右する主たる一因である生活保護費の医療扶助等が増加傾向にあることに對する対策として、上級機関の指導も仰ぎ、医療扶助の効率的運営という観点から、長期入院患者及び頻回受診者の実態調査を行うべく、平成十二年度より単独でデータベースを構築し、このたび医療扶助適正化に向けてのデータベース事業が完了し、平成十四年十月から運用を開始したところ早速効果が上がっている。また、福祉事務所に嘱託員を雇用し、レセプトの再点検を実施した結果、約三千万円の過誤調整の実績も上げられた。さらに、年金または扶養義務者の調査等も行い扶助費の適正化に取組む考えであることが明らかになった。

次に、特別会計の介護保険特別会

十二月定例会

会期の経過

二日	議会運営委員会
四日	本会議
	(委員長報告、討論、表決、議案上程、提案理由の説明)
六日	本会議(議案質疑)
九日	本会議(一般質問)
十日	本会議(一般質問)
	議会運営委員会
十一日	本会議(一般質問)
	議会報編集委員会
十二日	各常任委員会
十七日	議会運営委員会
	本会議(上程中の全議案に対する委員長報告、討論、表決)

計では、現在、所得第一段階と第二段階の対象者だけの保険料の軽減措置が開始されているが、実際の運用上、第三段階の方々に重く負担が、のしかかっていることに鑑み、軽減範囲を所得第三段階まで枠を広げ、また、第二期事業計画の策定に当たり、保険料基準額の引き下げを配慮するとともに、介護サービス利用料の減免等にも着手していただきたいとの要望が述べられた。

最後に、まとめ・総括で、これま

での行政改革への取組は評価できるものの、観光行政一つをとらえても、教育部門や福祉部門等関連する部署が連動して施策の推進に直面する場面が多々生じていると思われるところから、行政内部の各部課の枠を超えて各種の事象に対応できるような機構の見直し、特に機動性の発揮が十二分に図れるような事務分掌の大胆な見直しを行うことにより、将来の別府のあるべき姿、個性豊かな特色あるまちづくりの構築に向け、今後より一層の努力を重ねていただきたい、との提言がなされた。

補正予算

◎平成十四年度一般会計・各特別会計及び水道事業会計補正予算

(原案可決)

今回の補正予算は二億円の基金を取り崩し引続き地域経済の下支えを行うための工事に要する経費を計上するとともに、未来を担う子供たちの安全対策を念頭に置いた学校等の施設改善に要する経費を中心に編成している。

民生費では、心身に障害のある方などのホームヘルプ・サービスや住宅改造に伴う費用の助成、重度心身

障害者医療費の助成に係る決算見込み等による追加額を計上し、社会福祉各法の改正に伴い「措置制度」から「支援費制度」への移行に当たり、制度の周知を行うための広報等に要する経費を計上している。さらに、児童福祉関係では、児童手当の追加額、保育所入所児童数の増加に伴う所要の経費、放課後児童クラブへの委託料の追加額及び中央保育所の耐震調査委託料を計上している。衛生費では、豪雨の被害を受けた市営芝尾墓地及び笹川墓地の通路、側溝などの修理工事費等を計上。農林水産業費では、県産材の利用促進を図ることを目的とした県の「木造施設整備事業」による福祉施

設の改造費の一部を助成する費用や「森林整備地域活動支援交付金制度」による補助金を計上している。土木費では、児童の交通安全対策のため、学校の校門前の道路に視認性の高い路面表示を行う工事費を計上している。教育費では、文部科学省の事業認可を受けた南小学校屋内運動場建設事業費並びに各小・中学校、幼稚園及び体育施設の改善を図る工事費の追加額を計上している。

条例の一部改正

◎特別職の職員で非常勤のものの報

酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について (原案可決)

児童扶養手当の受給資格者の認定に当たり、児童扶養手当判定医を設置することに伴う条例改正

◎別府市税条例及び別府市都市計画税条例の一部改正について (原案可決)

固定資産の価格等の決定期限の延長及び縦覧制度の見直し等により固定資産税等の納期を改めることに伴う条例改正

◎別府市国民健康保険税条例の一部改正について (原案可決)

国民健康保険税の所得割額の算定において、上場株式等に係る譲渡損失を繰越控除することに伴う条例改正

◎別府市水道事業給水条例及び別府市簡易水道事業給水条例の一部改正について (原案可決)

貯水槽水道に関し水道事業者と設置者の責任を明確にすること等に伴う条例改正

◎別府市職員の給与に関する条例等の一部改正について (原案可決)

職員の給与について、給料月額の改定並びに期末手当及び勤勉手当の支給割合を改めること等に伴う条例改正

意見書

議員より意見書7件が提出され、6件が可決されました。

可決された意見書は直ちに関係機関へ送付されました。

◇北朝鮮による拉致問題の徹底解明を求める意見書 (原案可決)

◇児童扶養手当制度の見直しに関する意見書 (原案可決)

◇イラクに対する武力攻撃に反対し、平和的解決を求める意見書 (原案可決)

◇雇用保険の保険料引き上げ、給付削減を行わないことを求める意見書 (原案否決)

◇年金支給削減反対を求める意見書 (原案可決)

◇「食の安全」に関する意見書 (原案可決)

◇WTO農業交渉等に関する意見書 (原案可決)

案 疑 議 質

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。

十二月六日に五名の議員が行いましたが、そのうち、主な質疑内容を掲載します。

保育所入所に要する経費の追加額について

問 今回の補正予算で計上されている保育所入所に要する経費の追加額について、これは、それぞれの保育所の施設整備も完了し、待機児童の解消に要する経費と理解してよいのか、また、平成十四年度における待機児童の数はどれくらいいるのか。

答 これは民間保育園への委託料として四千八百三十一万円の補正予算を計上したものです。毎年保育所入所の児童が増加傾向にあり、十二月一日現在で公立百十三・二%、民間の保育園では百二十四・八%の入所率となっている。

平成十三年度に国の臨時特例交付金を受け、施設整備を行ったところ

であり、待機児童解消が最優先と考え、民間保育園で七十五名の入所増を図ったところです。また、待機児童数については、昨年度約六十名いたが、本年十二月一日現在で十三名となっている。そして現在、西野口町に定員六十名の認可保育園が建設中であり平成十五年三月に完成すれば、ほぼ待機児童の解消がなされると考えているところです。

問 厚生労働省からの通達により、恒常的に定員を超える場合には、新しく保育所を増設するとか定員を改定することが望ましいとある。

野口町に一園新設されるということであるが、保育所では、その年齢により適正な人数というのがあり、むやみに児童数を増やした場合、余計なトラブルが増え、児童にとって母母にとっても、難しい状況に

なってくる。民間の保育園の定員を増やすということは、さまざまな状況から考えた場合、困難と思われる。このような時だからこそ、公立の保育所を民営化するのではなく、市の方で確かな対処をするべきではないのか。

答 公立保育所の定員増ということについては、団塊の世代の子供たちを保育所にあずける時代に設立された施設であり、中央保育所においては、本来百五十名の定員で造られたものであるが、現在の定員は九十名となっており、内蔵保育所について

は定員六十名で造られたものであるが現在の定員は四十五名となっている。このような状況を踏まえ、民間と公立の入所状況を総合的に判断して、今後取り組んで行きたいと考えている。

問 市立保育所の施設整備に要する経費の追加額については中央保育所の施設改修に係る耐震調査委託料ということであるが、以前より指摘されてきたことであるクーラーの設置について、特に調理室については保健所等からの指導により、湿度八十%以下、温度二十五度以下に保つことが望ましいとなっている。保育所は夏休みがないので、真夏の猛暑の盛りでも、子供たちに毎日給食を出している。

衛生管理という観点から、中央保育所に限らず、他の保育所でも早急にクーラーの設置を行うべきである。

答 ご指摘のとおり食中毒等については、十分注意を図りながら、職員と協議を重ねているところであり、今年度、鶴見保育所の調理室を改修し、クーラーを設置いたしました。

また現在、野口保育所でも、改修工事を行っており、来年度以降も年次計画により、早期に全園に設置を行う計画であるので、ご理解いただきたいと思っています。



施設改修の行われる市立中央保育所

一般質問

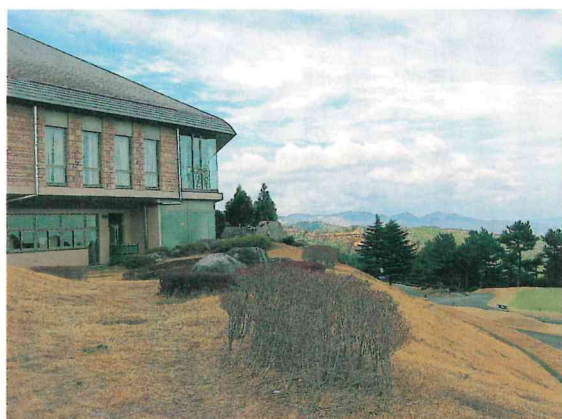
一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。

十二月九日から十一日までの三日間、二十一名の議員が市当局の見解をいただきました。
主な内容は次のとおりです。

猿渡 久子	平野 文活
松川 峰生	池田 康雄
野口 哲男	野田 紀子
堀本 博行	田中 祐二
高橋美智子	後藤 健介
富田 公人	三ヶ尻正友
佐藤 岩男	泉 武弘
河野 数則	岩男 三男
原 克実	内田 有彦
伊藤 敏幸	朝倉 斉
村田 政弘	(議席順)

扇山ゴルフ場の経営問題について

問 別府市が出資している扇山ゴルフ場の決算状況を見ると累積赤字が約八千五百万円となっている。その様な経営状況の中で、同ゴルフ場の会長でもある市長はここ三年間ゴルフ



扇山ゴルフ場

場利用税のみ払ってプレーしていると聞いているが、市民感情や従業員の士気も考えるとそれでいいのか。
答 慣習としてプレー料を受け取らなかつた経緯もあるが、無報酬でゴルフ場振興のために努力している。

市長の後援会の献金問題

問 市長後援会の平成十二年分の献金は全体で約二千六百万円余、その中に市職員幹部の献金十五名が含まれている。平成十三年分は市職員三十名同OB三名の計三十三名となり(一人年十二万円)更に体育館の入札着工を当て込んで井上市長を励ます会(ビーコン)を開き、総額約四千百万円の収入があり、その中に体育館受注業者の献金が含まれている事は、市民感情としては如何なものかと思う。市職員の献金は九月から中止しているが。

公平な市税滞納整理を求める

問 年度末の市税滞納整理特別対策の対象から悪質な滞納者が外されているのではないか。
答 対象見直しもやぶさかではない。一枚二万円の政治資金パーティー券を出入り業者に割り当てた事は事実上の強制献金であり、今後はやるべきではないか。
答 パーティ主催者に対して、今後は自粛するように申し入れしたい。

コンベンションの情実契約

問 別府コンベンションビューローと業務契約を結んだ人が、市長の知人であり市長の後援会に政治献金をしている。これは情実契約ではないのか。また関東方面での誘致活動をしているとのことだが目立った実績を上げているのか、ビューローの経営状況を勘案してもこれでいいのか。
答 私情で契約した訳でなく、営業強化のためと聞いている。第三セクターであるのでこれ以上はコメントできない。

市長の退職金の引き下げを

問 市長の四年ごとの退職金三千二百万は他市より率が高く引き下げを。
答 特別報酬等審議会に任せている。
問 来年四月の支援費制度スタートに向け、その広報活動やグループホーム、デイサービスなどの基盤整備の充実、また、きめ細かな相談業務を行う専門職員や体制が必要では。
答 民生委員等の協力も得て広報していく。専門職は必要になったら人事当局と協議する。基盤整備は別枠速見圏域で取り組んでいく。

サテライト日田は 断念すべき

問 サテライト日田場外車券売場を設置する問題で、先般大分地裁で市報に訂正記事を掲載せよという判決が下った。また別府市はこれを控訴することを断念したが、議会で設置関連予算案が否決されたことと併せて、サテライト日田の設置は断念するという政治的判断をしたらどうか。

答 現在の別府市の考え方に変更はなく、一月末に判決される国と日田市の裁判の状況を見極めながら、今後適切に対応したい。

消防体制の改善 こそ急務である

問 全国的に見て消防は二部制が基本ではないのか。わずか一名の指揮隊を廃止し、全国でも例の少ない警防課を廃する近年の消防行政が事故の遠因だと指摘したい。条例定数百五十一の下で百四十三名体制は無理に無理を重ねた結果である。装備費予算の充実と併せて職員増を速やかに再検討し、真に市民の生命と財産を守る事の出来る消防体制へと改善すべきであると思うがどうか。

消防殉職者の慰霊碑 建立を提言

問 今回草牧蒼樹消防士長の痛ましい殉職事故は、同世代の若者多くに鮮烈なる魂の揺さぶりを与えた。この尊き犠牲を後世に語り継ぎ、若き世代の魂の炬火とするためにも慰霊顕彰碑の建立を提言したい。それも公費で建立するのではなく、広く市民各層から浄財を募って建立する物でなければ意義がない。

答 貴重なご提言を有難くお受けしたい。部内に於いて慎重に検討する。

旧浜田温泉の 取り扱いについて



旧浜田温泉



新浜田温泉

問 新浜田温泉はバリアフリー化もあつて連日多くの利用者があり、駐車場が十分対応出来ないという聞く、また旧浜田温泉は閉鎖以来内部等の老朽化が進み隣家等への影響も考えられる。当初の計画通り取り壊して新浜田温泉の駐車場にすることを地元は望んでいるが、どうか。

答 旧浜田温泉については、『歴史的建造物の保全等に関する調査委員会』の中間報告が出てから早急に市の方針を決定したい。

交通安全対策に 万全を尽くせ

問 平成十四年十一月十六日、小学校一年生の女兒が横断歩道を青信号で渡つていて、タンクローリー車にはねられ死亡する痛ましい事故が発生した。市行政はこの事故を教訓に、安全対策を強化すべきである。特にスクランブル交差点や歩行者が渡り終わるまで車の通行が出来ない歩車分離式信号機の設置を要望する。

答 安全対策について関係機関と連携して万全を期す。特に学校の正門付近にて安全策を即実行する。

常設型の住民投票 条例の制定を

問 地方分権一括法の施行後、住民

の意見を直接反映させる常設型住民投票条例の制定が愛知県高浜市を始め全国的に広がつつある。

高浜市は、全市民の声を議員が代弁できない以上、民意を反映させるシステムが必要という論理のもと二年前に森市長の提案に対し、市議会本会議は全会一致で可決成立した。

答 別府市もこの条例制定を急ぐべきだ。導入するか否か慎重に検討する。

絶対評価を含むこれ からの評価について

問 相対評価には、自分が全体のどの何処に位置するかを把握できるが、学校教育の主役である子供を大切にすることは、位置づけではなく努力を評価する事である。また、学校と家庭が協力し子供を育て伸ばす観点からの評価でもなくてはならない。子供達の可能性を伸ばす絶対評価を中心に考えていく事が大切である。

答 目標に準拠した評価と個人内評価を充実することが大切になります。

市営住宅にシャワー 設備の設置を

問 市営住宅も浜脇高層住宅以降はシャワー設備もしっかり整っているが、それ以前に建設された住宅は十分とは言えない、酷暑の夏場、浴室

はあるのにシャワー設備がない、入居者は不便している。今や必要不可欠な設備だ。年次計画で設置できないか。

答 シャワー設備を設置するためには、水圧の改造工事、浴室の壁の防水工事が必要である。今後の住宅の建て替えの中で対応していきたい。

温泉大賞の検証とまちづくり

問 泉質は『部門賞』、『行つて見たい賞』は四位、『行つてよかった賞』は三位、残念ながら大賞を逸した反省とオリジナリティのある温泉観光地づくりは。

答 『癒し』をキーワードに自然環境や施設整備と併せ、泉質あこがれ湯治まちづくり歴史保存国際化等オリジナリティあふれる行つて見たい行つて良かった温泉観光地を確立するため別府独自の温泉文化をつくりおもてなしの心を持ち迎えする事。

観光浮揚のための目玉作り

問 (一) 上人ヶ浜に砂湯を造ったかどうか。

(二) ラクテンチを買収してはどうか。

(三) 美術館の建替えに際しては内

容のレベルアップをするべきだ。

答 砂湯については前向きに検討いたしたい。またラクテンチ買収に当たっては出来れば大きな企業に買収頂き、別府観光の目玉となるべく真剣に検討いたしたい。美術館に関しても同様に検討いたしたい。

はり・きゅう補助金について

問 はり・きゅう・マッサージの国保からの補助は被保険者の健康保持増進を目的とし、医療費の抑制に大きく貢献、また高齢者・体の弱い人が助けられています。別府市は平成十一年四月から一回に九百円を補助しています。大分市は今年の四月に改定し千円になっています。別府市も千円に増額したらどうか。

答 今の厳しい財政状況の中でこれ以上の助成が得られるか協議したい。

不妊治療対策について

問 今夫婦十組に一組が不妊症で悩んでいるといわれている。全国で二十八万五千人が不妊症の治療を受けているそうです。国に於いても一時的金的な形か、保険適用範囲をどこまでするか検討中。市町村でも不妊治療に対し助成制度を導入している所

もあるが、別府市としてどの様な考えなのか。

答 不妊治療には多額な費用が必要といわれている。厚生労働省の動向を見ながら対応していきたい。

十五年度以降の介護保険制度は

問 国は保険料と介護報酬を引き上げる予定だが市は保険料を上げるか。

答 保険料については介護保険策定委員会が据え置きの方で検討中。

問 市政アンケートで保険料が高いという声が七割。高齢者の生活実態からは保険料利用料の負担が重すぎる。介護保険会計は三年間の基金と収支で約四億五千万の所謂黒字。市独自で保険料を引き下げと利用料を助成すべき。

答 現行の保険料減免を継続する。

美術館収蔵品の早期修復を

問 美術館はその町の文化の象徴であり、複合施設にすべきではない。収蔵品の修復が急務であり、早速予算措置をして数々の名作が駄目にならない様に配慮してもらいたい。万一そのような事態になったらその責任は大きく、市民の貴重な文化財毀損に対して責任を問わざるを得ない。

答 文化施設建設調査委員会で複合施設も視野に入れて研究している。痛みの酷い物から修復していきたい。

東別府駅舎を市指定文化財に

問 JR東別府駅舎の老朽化に伴い建て替え計画があるが、文化財(近代化遺産)としての価値があるので市民や地域住民の要望に添うよう市指定有形文化財に指定し、修復保存し活用できるよう取り組んでほしい。

答 市文化財調査委員会に諮り意見を聞いた。市指定の有形文化財に指定して保存、活用する方向で取り組んでいる。また助成も検討している。



現在の東別府駅

平成14年 議会活動状況 (平成14年1月～12月)

(1) 本会議及び議決件数

区 分		会期日数	傍聴者数	議 決 件 数			
				市長提出議案	議員提出議案	その他	合 計
定 例 会	第1回(3月)	24日	191人	4 1 件	4 件	—	4 5 件
	第2回(6月)	12日	54人	2 0 件	9 件	1 件	3 0 件
	第3回(9月)	17日	114人	1 5 件	5 件	1 件	2 1 件
	第4回(12月)	14日	187人	1 6 件	8 件	1 件	2 5 件
臨 時 会		1日	1人	—	1 件	—	1 件
合 計		68日	547人	9 2 件	2 7 件	3 件	1 2 2 件

(2) 常任委員会

区 分	開催日数	付託件数	調査会日数
総務文教	4日	38件	2日
観光経済	5日	13件	—
厚 生	4日	24件	2日
建設水道	5日	25件	1日
合 計	18日	100件	5日

※ この他に、議員が議会代表として、市長等より委嘱され、各種審議会・協議会委員として活動しています。

(3) 特別委員会等

区 分	開催日数	付託件数	調査会日数
観光振興及び企業誘致・大学対策	2日	3件	—
交通体系及び海岸整備対策	3日	4件	—
南部振興及び再開発対策	1日	1件	—
決 算	2日	1件	—
議 会 運 営 委 員 会	19日	—	—
各 会 派 代 表 者 会 議	4日	—	—
総合体育館建設関連及び市税滞納問題等調査	13日	—	—
議会だより編集委員会	8日	—	—

傍聴のご案内

- ◆ 本会議はどなたでも傍聴できます。
- ◆ お気軽に議会棟四階へ起こし下さい。
- ◆ 傍聴席は八十席あり、車椅子席も七台分用意されています。
- ◆ 次の定例会は二月下旬～三月上旬を予定しております。

お願い

◎政治家が、入学、卒業、就職・結婚・出産などのお祝いや各種会合へ祝儀などの寄附をすることは禁止されています。

◎政治家に、寄附を勧誘・要求することは禁止されています。

会派構成

○は会派長

自 民 党 別 府 市 議 団	○河野数則、吉富英三郎、松川峰生、野口哲男、山本一成、永井 正、泉 武弘	黒木愛一郎、後藤健介、佐藤岩男 (10名)
市民クラブ	○村田政弘、三ヶ尻正友、朝倉 斉	首藤 正 (4名)
公 明 党	○伊藤敏幸、堀本博行、原 克実	岩男三男 (4名)
社会民主党 議 員 団	○内田有彦、田中祐二、富田公人	高橋美智子 (4名)
市 民 の 声 ク ラ ブ	○矢野 彰、池田康雄	佐藤博章 (3名)
日本共産党 議 員 団	○平野文活、猿渡久子	野田紀子 (3名)
自民クラブ	○浜野 弘、清成宣明	(2名)
刷新クラブ	○江藤勝彦	(1名)
自 由 市 民 ク ラ ブ	○井田逸朗	(1名)

※なお、会派構成は平成15年1月1日現在です。